

科目区分	専門分野Ⅱ	授業科目	母性看護学概論
講師	看護教員	実務経験の有無	有
単位数(時間)	1単位(30時間)	開講年次	2年次 第1学期
<p>目的: 1. 母性看護の概念について理解する 2. 母子保健の意義と看護の役割について理解する</p> <p>目標: 1. 母性看護の概念と看護の対象が理解できる 2. 母性保健の意義と看護の役割が理解できる 3. 妊娠、産褥、新生児の正常を理解できる</p>			
講義概要 メッセージ	母性看護学の基盤となる概念を学びます。母性看護の対象を身体的・心理社会的に捉え、さらにはライフサイクル、社会保障、母子関係からも幅広い視点で考えます。		
回	講義内容	授業方法	
1	1. 母性看護の基盤となる概念 1) リプロダクティブヘルス/ライツ 2) セクシャリティ 3) 家族と発達課題 4) セルフケア	講義	
2	2. 母性看護の対象理解 1) 女性のライフサイクルにおける形態・機能の変化(女性生殖器で既習) 2) 女性のライフサイクル家族 3) マタニティサイクルと発達課題 4) 母性看護の対象を取り巻く環境 5) 女性の性周期	講義	
3~4	3. 女性のライフサイクル各期における身体的特徴と心理・社会的特徴 1) 思春期 2) 成熟期(マタニティサイクルは保健) 3) 更年期 4) 老年期 4. 女性のライフサイクル各期の健康問題	講義	
5	5. リプロダクティブヘルスケア 1) 家族計画 2) 性感感染症とその予防 3) 喫煙と女性の健康 4) 国際化社会と看護	講義	
6	6. 母性看護に必要な看護理論 1) 家族のシステム理論 2) 母親役割理論(ルービンの理論) 3) 家族理論 4) 愛着理論	講義	
7	7. 母性看護における倫理(DVD)	3校合同講義 DVD・GW	
8~9	1. 母子保健統計 母子保健に関する制度、関係法規 2. 母性看護を取り巻く環境	講義	
10~12	3. マタニティサイクル(妊娠期・分娩期・産褥期) 1) 妊娠・分娩・産褥期に伴う心身の変化 4. 新生児の特徴(形態的・機能的)(小児看護学概論の想起) 1) 胎外生活適応と生理的变化	講義	
13~15(5時間)	5. 母性看護に必要な看護技術 1) ウェルネス志向における考え方と看護過程	講義	
16(45分)	終了試験		
評価方法	筆記試験(100点:概論50点・保健50点) 評価基準参照		
テキスト	医学書院:系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学 [1] 母性看護学概論 (財)厚生統計協会 国民衛生の動向		
備考	関連科目:小児看護学概論(新生児の身体的特徴)、母性看護援助論Ⅰ、Ⅱ		